

Gちゃんサミット in 北秋田市
まだまだ元気！おらがまちを応援し隊！

●公民館活動 ●生涯学習
●文化振興 ●学校 ●スポーツ

【基調講演】 9時40分
演題 「子どもから高齢者を紡ぐ！これからの地域づくりと社会教育」
講師 深作拓郎さん（弘前大学生涯学習教育研究センター講師）

【シンポジウム】 10時40分
（シンポジスト） 畠山慎咲さん（北秋田市・畠山牧場）／若狭幸三さん（大館市・はなしの泉代表）／齊藤進さん（上小阿仁村・生涯学習奨励員会長）

【交流レクリエーション】 12時50分
指導 桜庭達哉さん

（秋田県レクリエーション協会）
【元気団体ステージ】 13時30分
（スコップ三味線）ワンディイベンペン×シヤミガールズ／（フラダンス）ハラウフラ・ハク・レイ／（日本舞踊）貴鏡会／（書道）パフォーマンス／高鷹大学／（レクリエーション）ダンス／老人クラブ女性委員会／（北秋田鷹巣祇園大鼓）鷹巣東小学校チーム／（よさこい）よさこいチーム鳳翔華

【ふるさとを歌おう】 15時～15時15分
指導 金新佐久さん（北秋田市）

問用 生涯学習課 ☎62・1130

浜辺の歌音楽館少年少女合唱団
クリスマスコンサート（入場無料）

期日 12月19日（土）
時間 13時30分
会場 浜辺の歌音楽館
出演 浜辺の歌音楽館少年少女合唱団／M・M・C／女声合唱団コール
もりよし／北の杜音楽団

文化係 ☎62・6618

おさるべさ集まるべ講座
■火の民俗

世界の宗教文化における「火」をめぐる民俗の考察から、北秋田の「火の民俗行事」を考えます。

日時 12月25日（金）14時
会場 中央公民館 大教室
講師 長谷部八朗さん
（駒沢大学教授 専攻 宗教学）

問用 おさるべ元気くらぶ（長岐）
☎090・6101・8906

今月のおすすめの本を紹介します

▽地域おこし協力隊 日本を元気にする60人の挑戦（地域活性化センター編著）
▽我が家のヒミツ（奥田英朗著）
▽太陽は気を失う（乙川優三郎著）
▽小説土佐堀川（古川智映子著）
▽クリスマス・正月のハッピーマジック（藤原邦恭著）

問 鷹巣図書館 ☎62・3311

ふるさとの文化財
「縄文時代編」

北秋田市には現在、ユネスコの世界文化遺産登録を目指している伊勢堂岱遺跡のほか、数多くの縄文遺跡があります。

今回から「ふるさとの文化財・縄文時代編」として、市内の縄文時代の遺跡や遺物について紹介します。

○岩偶（白坂遺跡出土）

白坂遺跡は、平成4年に浦田字白坂のほ場整備事業に先立って行われた秋田県埋蔵文化財センターの調査により発見され、縄文時代晩期の初め頃（今から約3000年前）を中心とする集落跡のほか、土器や石器などの日常的な道具、まつりや儀式などに用いられたと考えられる遺物が出土しました。

また、県内で初めて縄文人の足跡がみつかるなど話題を集め、なかでも注目を集めたのが、通称「笑う岩偶」です。

凝灰岩という軟らかい石を削り作った胸像で、高さが6・8cmと握りこぶしより少し小さいくらい

▲笑う岩偶

この白坂遺跡出土の岩偶は、現在、森吉庁舎1階ホールで実物を見ることが出来ます。

「笑う門には福来る」。皆さんが白坂遺跡の岩偶のような笑顔で、今年を締めくくれますように。

の大きさです。土器の表面を飾った「三叉文」（アルファベットの「Y」の字のような文様）を彫り込み、この文様を巧みに組み合わせ、ユーモラスな表情を作り出しています。

「笑う」というよりは「笑みを浮かべている」といった方がよいかもしれません。この岩偶が「笑顔」を表現したものとするれば、「笑顔」について縄文人も現代の私たち変わらない感性を持っていたといえます。

岩偶にどのような意味が込められ、どのように使われたのか正確には分かりません。この岩偶は集落の外側で、たくさんの土器や石器とともに廃棄された状況でみつかりましたが、土器の中には壊れていない完全な形のものもあることから、ただ投げ捨てられただけではなく、物送りのような儀式があったと考えられています。この岩偶も何らかの役目を果たし、いのりを込めて送られたのかもしれない。

学びの広場

地域で学び、活動する皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

●公民館活動 ●生涯学習
●文化振興 ●学校 ●スポーツ

**「長岐邸や合川駅秋まつりを視察」
～地域づくり先進地視察交流会～**

青森県総合社会教育センター主催のアクティブシニアによる地域づくり先進地視察交流会が、11月1日に行われ、七日市の長岐邸と合川駅秋まつりを訪れ、「おさるべ元気くらぶ」と「合川駅前地域活性化協議会」の地域活動を視察し、交流を図りました。

交流会では、青森県で地域づくり活動を実践している38人が、長岐邸を拠点としてジャズライブや「葛黒火まつりかまくら」など、様々な事業を開催している「おさるべ元気くらぶ」の活動について邸内で説明を受けたほか、同日開催された「合川駅秋

**家庭教育『未来サポート研修会』
～北秋田市青少年問題協議会～**

北秋田市青少年問題協議会主催の研修会が、11月12日に交流センターで行われ、90人が参加して子ども達の健全育成における家族のあり方や、地域の大人の役割について考察を深めました。

研修会では、青森刑務所篤志面接委員の伊藤恵美子さん（三沢市在住）が「すばらしい少年達との出会い」と題して講演し、普通の家庭で育っている子ども達が、重大な罪を犯し少年院に入る現状や、組織的な犯罪に巻きこまれていく状況などを語りながら、大人の作った社会状況を大人はしっかりと考えなけ

**「地域の芸術文化で魅了」
～もりよし文化交流会～**

「もりよし文化交流会」が、11月15日に森吉コミュニティセンターで開催され、約350人が集まりにぎわいました。

今年は、演示ゲストに阿仁前田獅子踊り（秋田県指定無形民俗文化財）と浜辺の歌音楽館少年少女合唱団＆M・M・Cを迎え、リズムダンスや日舞、バンド演奏、民謡など森吉地区で活動している自主講座の皆さんを中心にステージを盛り上げました。

サロンでは、水墨画やパッチワーク、押し花などの作品300点余りが展示されたほか、呈茶コーナー

まつり」に参加し、住民自らがにぎわい創りに参画する地域協働の活動に理解を深めていました。



▲長岐邸で活動の説明を受ける参加者

ればならないことや、命の重さは子どもを愛しいと思う心にあると、自らの体験を交え話しました。



▲子どもの健全育成について話す伊藤さん

や手づくり体験コーナーなども設けられ、来場者を楽しませました。



▲日頃の活動の成果を披露しました